

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全	29年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 工事課長 施設工事担当課長	
施策名	港の安全性・信頼性の向上	成果	コスト				
事務事業名	中川口通船門の地震・津波対策	延伸	拡大	維持	連絡先 連携課	052-654-7937 施設事務所、港湾工事事務所	
目的	対象(誰・何を)	中川口通船門				事業 期間	平成25~30年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上します。					
概要	中川口通船門の地震・津波対策として、門扉の補強工事や、既設の躯体について、耐震補強工事を行います。				根拠 法令等		
事業着手時点の 評価	補強対策を行うことにより、機能の強化に併せて住民及び企業の生命・財産を守ります。				実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
30年度の実施予定	中川口通船門の前扉室及び後扉室について耐震補強工事を実施します。				関連 シート		

2 DO(実施)

30年度に実施した 内容・結果	中川口通船門の前扉室左岸及び後扉室左岸について耐震補強工事が完了しました。					
コスト	単位	28年度	29年度	30年度	合計(25年度~)	備考(費用の増減理由等)
工事費	千円	415,200	734,585	422,088	1,723,442	
人件費	千円	16,305	17,461	6,822	56,497	
合計	千円	431,505	752,046	428,910	1,779,939	

3 CHECK(検証)

指標名	28年度	29年度	30年度	最終目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
既設躯体への耐震補強 工事完了までの進捗状 況(全4工程) (進行管理型)	目標	3	4	4	4(累計)	既存の躯体への耐震補強工事の進捗状況 ①耐震性の検証②設計③工事着手④工事 完了	
	実績	3	3	4			
	事業進捗状況(30年度)		順調・やや遅れ・遅れ				
	目標						
	実績						
事業進捗状況(30年度)							
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	耐震補強工事が完了し、住民及び企業の生命・財産が守れるようになりました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必 要 性	事業着手時に比べ必要性が低下してないか？	○	地震・津波対策は、背後地域の生命・財産を守るため必要な事業であり、防災上のニーズも高いと考えております。				
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	○					
有 効 性	事務事業は、施策達成に貢献するか？	○	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上することは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に貢献すると考えております。				
	期待どおりの成果が得られているか？	○					
効 率 性	最小のコストとなっているか？	○	必要最低限のコストにて取り組んでおります。				

4 ACTION(取組)

5年間の状況	課題	令和元年度以降の取組
完了		